

化

文

中学時代は英語教師  
『You English  
people...』。君たち英  
国人は、というつもりだった私  
に、ロンはなにやしないが、お  
れはスコットランド人だよ」と  
答えた。ブライアンも「おれは  
アイルランド人だよ」と片目をつ  
ぶった。ああ、そうだった、英  
国は多民族国家だったのだ。パ  
フでぬるい黒ビールを一杯やり  
ながら私はまた「レッスン」を  
受けたわけだ。

八四年、英国勤務を始めたは  
かりの私が、英国人との日常会  
話の端々から察知したのは、民  
族性や歴史への強いこだわりで  
ある。仕事をスムーズに進める

ろえて、彼らのことをよく知る  
必要があり、英国史、なかでも  
彼らが特にこだわっている民族  
の歴史にスポットをあてて研究  
してみようと思った。

幼いころからの歴史好きとい  
うこともあり、みるみるのめり  
込んでいった。最近ではこの十  
年近くわたる研究の成果を

『英語と日本語のルーツ』(サ  
イマル出版会)という本にまで  
してしまっただ。

昭和三十年代初頭のことだ。  
中学校に入っただけの私にと  
って、一番大切な宝物は家の近  
所で出土した古墳時代の土器  
(須恵器)だった。当時住んで  
いた大阪府豊中市には、古墳や  
竈跡などが豊富にある。私や  
仲間たちから始まって隣の中  
学校の生徒にまで須恵器の「発掘」  
が大流行したのである。

土地を掘り返しているところ  
を見付けた地主に怒られる  
し、良い発掘場所をライバルに  
見付かなくてはならない。最初の  
ころはそんなスリルを楽しんで  
いた。休日には弁当を持ってで  
かけ、一日中発掘に打ち込む。  
丘の斜面を掘っていたらそこか  
かつての登り窯のあとで、大量  
に出土した須恵器に狂喜したこ  
ともある。家の縁の下はいつの

間にか須恵器がいっぱいという  
ありさまだった。

夏休みには京都や奈良の親せ  
きの家で過ごすことも多く、常  
に歴史の存在を身近に感じられ  
る環境だった。少年時代から現  
在にいたるまで、歴史をあれは  
歴史書を読んでいた。

英国大銀行員から学ぶ  
こうした私の興味が英国勤務  
をきつかけに一挙に爆発したの  
である。八四年、英国で自動車  
を現地生産することが決まり、  
私は財務担当として現地法人へ  
の出向を命じられた。出向先は  
ワシントンという古い村。米國  
初代大統領となったジョージ・  
ワシントン一家の出身地だ。

地元紹介のパンフレットを読  
むと、Washingtonは  
Wassy一族が開拓した集落  
という意味だと書かれてあっ  
た。Washはアングロサクソ  
ンの固有名称がなまったものら  
しい。英国人の友人に聞くに  
語尾に「ington」がつく  
地名、タリントン、パディン  
トンなどはみなアングロサクソ  
ンが開拓した土地だという。こ  
んなところから英国史研究の糸  
口をつかんでいった。

英で推理日本人のルーツ

◇侵攻と混交の民族史ヒントに「大胆」仮説◇

小林 正典



小林 正典

た。Washはアングロサクソ  
ンの固有名称がなまったものら  
しい。英国人の友人に聞くに  
語尾に「ington」がつく  
地名、タリントン、パディン  
トンなどはみなアングロサクソ  
ンが開拓した土地だという。こ  
んなところから英国史研究の糸  
口をつかんでいった。

でいた人が多く、大層で私の  
質問に答えてくれた。  
ころしておぼろげながら見え  
てきた英国史は、一言でいって  
異民族の侵攻と混交の歴史だっ  
た。英国人といえは金髪を目的  
の青いアングロサクソンといっ  
たイメージが日本では強いが、実  
際に英国で暮らしてみると決し  
てそうではないことが分る。  
ケルト、フランスなど様々な人

リシヤ語の影響があつて現在の  
英語になったというのがおおよ  
そのところだ。  
島国同士似た環境  
さて、英国史に関してはい、ほ  
ぼ一通りの学説は目を通し、  
自分なりのイメージを作り上げ  
ることができた。ところが自分  
のことに限ってはどうか。英国  
人をつかまえて彼らのルーツに  
ついて質問攻めにすると思ふ返  
された「ではお前の民族はどこ  
からきたんだ」という質問に、  
歴史好きを自負するはずの私が  
ほとんど答えられなかったの  
だ。

そういえば、今まで私が趣味  
で読んで来た日本古代史を巡る  
文獻では日本人および日本語の  
ルーツに関しては諸説が飛び交  
っている状態で、定説というも  
のがない。いま日本古代史最  
大のナゾとされているのだ。  
これは取り組む価値のある問  
題だ。私の中で次第にこの難問  
が大きな位置を占めるようにな  
っていった。そんなある日ふと  
思い付いた。考えてみれば日本  
も英国と同じく島国である。大  
陸との位置関係にしても似たよ  
うなものだ。英国で起きたよう  
な民族の流入、ケルト対アング  
ロサクソンのような構図は日本  
には適用できないだろうか。

英国では、大陸から流入した  
アングロサクソンが先住のケル  
トを征服し搾取して、優勢とな  
る。日本にその図式を当てはめ  
てみる。大陸から渡来してきた  
弥生人は稲作などの成功で人口  
優勢を起し、先住の縄文人を  
しのぐ勢力を獲得したのではな  
いか。渡来民族が、武力や技術  
で先住民族に勝利したという  
図式だ。  
最近の遺伝子研究では、現在  
の日本人は縄文人より、むしろ  
中国人や朝鮮人に近いといわれ  
ている。もしそのとおりなら、  
渡来民族が先住民族を征服した  
というこの説は、信ぴょう性が  
高いように思われる。  
漢民族などが吸収？  
ところかたはと困ったのは言  
語の問題だ。たがえば英語の場  
合は、アングロサクソンと祖先  
を同じくするゲルマン系のドイ  
ツ語のように、大陸に英語と似  
た言語があるのは周知の事実  
だ。ところが日本語の場合、大  
陸の言語との類似性を考察した  
学者は少ないが、いまだそ  
れが成功したとはいえない。  
そこで私は、日本語のルーツ  
となる言語を話していた民族  
は、優勢な漢民族などに吸収さ  
れ消滅したのではないかと一  
仮説を立てた。ゲルマンはた  
まヨーロッパ大陸で生き残り  
たが、スラブやラテンに滅ぼさ  
れていかなかったと限らない。  
もとよりアマチュアの仮説に  
過ぎないし、消滅したという仮  
説である以上、実証するのはい  
不可能に近いほど困難だ。しか  
しこれが英国赴任以来約十年、中  
学生のころからすると三十年以  
上にわたる私の古代史研究の一  
つの到達点ではある。同時に、  
また新たな出発点でもある。今  
度はこの仮説を証明する番だ。  
はるかな目標だが、ますます研  
究を重んじていきたい。(こは  
よし・まさのり)日産自動車  
部署長

抄を遊

海軍兵学校一  
生徒(最上級生)  
のまき戦艦をわ  
か

えに私は少々キ  
ザリ直し、三隻  
に這え、国を命  
に這え、国を命  
に這え、国を命